

丸亀の二つの遺産 - 城と庭 -

狩場台 ヒストリアン

四国香川県の丸亀に二つの歴史遺産があります、丸亀城と中津万象園です。かねてから訪ねたいと思っていたのですが、6月初めにようやく念願叶い、見学できましたので、ご紹介させていただきます。

中津万象園(市指定名勝)は、江戸時代1688年に京極氏二代目藩主の京極高豊が築いた大名庭園です。京極氏はもともと鎌倉時代に近江守護職を勤めた名門大名で、1658年播州竜野からここ丸亀に移封されました。

万象園は丸亀城から北西約2km、海浜に築かれた池泉回遊式庭園です。当時は波の音も聞こえる場所だったでしょう。敷地は約4万9千㎡あり、庭には浜と同じ松が植えられています。庭の中央には京極氏の故郷、琵琶湖を象った八景池があり、池の中には近江八景になぞらえた八

の島が造られています。島へは石橋、太鼓橋、飛び石など趣向を凝らした橋が架けられ、回遊でき、様々な角度から池や庭の風景を楽しめます。池の周囲は四季折々の花が咲き、松の緑に彩りを添えています。6月はサツキや藤が咲いていました。

池の南岸には茶亭観潮楼と母屋があります。藩主はここで庭や海を眺め、煎茶と抹茶を楽しんだことでしょう。母屋の前には、丹念に手入れされた大笠松があります。直径15mの見事な枝ぶりを見せ、その南の伏見稲荷に似せた百本鳥居と共に庭の名所です。

池の西端からは、借景の讃岐富士(飯野山)が眺められ、琵琶湖から見る近江富士(三上山)を連想させます。万象園は、近江を知る人には、格別趣のある庭だと思えます。栗林公園より小規模ですが、四国の名園です。

もう一つの遺産、丸亀城は日本百名城の一つ、石垣の城として城廓ファンには人気の城です。丸亀城は最初の藩主生駒氏が慶長2(1597)年に標高66mの亀山に築城し、慶長7(1602)年に完成させた城です。現在残る城は、丸亀城二代目藩主山崎氏が再建し、1660年に完成させた城です。



飛び石と太鼓橋



万象園 観潮楼と母屋



万象園 大笠松



百本鳥居



丸亀城から望む讃岐富士

大手一の門、二の門と天守が国重要文化財、城跡は国史跡に指定されています。城内からは、北に瀬戸内の島々や瀬戸大橋、東に讃岐富士を眺めることができ、石垣以外にも見どころ多し、です。

城は高さ20m以上の高石垣(三の丸は31m)が廻り、石垣は大阪城に次ぐ高さを誇ります。石垣は石を四角に粗割りした打ち込みハギという積み方が多いですが、自然石を利用した野面(のづら)積み、四角く綺麗に削った切込みハギという積み方の石垣もあります。

本丸の天守は三層三階櫓の天守で、現存する天守の中では最小規模のようですが、千鳥破風、唐破風、下見板張りの外観は築城時の姿がそのまま残っています。

なお、昨年から城泊が始まりました。藩主の別館で宿泊・夕食。天守がナイトラウンジ、万象園で朝食と抹茶を頂く内容で、殿様気分を味わえるそうです。さて、お値段は??

丸亀に残る無二の歴史遺産、中津万象園と丸亀城。お勧めします。



丸亀城天守と高石垣



万象園 讃岐富士借景



丸亀城